

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOGO BANK, LTD.
3-33-13, SAKAE, NAKA-KU
NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
名古屋市中区栄三丁目33-13
中京相互銀行 7 階

No.10 MARCH 15, 1976

●ガバナー月信 第10号 昭和51年 3月15日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区ロータリークラブ会長幹事殿

や よ い 随 想

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

「いふまいと思えど今日の寒さかな」、この1月2月の厳寒は、古稀を越えた老人には、骨身にこたえました。しかし、自然の輪廻はまことに美妙で、やよいも下旬に入りますと、朝の前裁には鶯の声が聞かれ、柳には緑の糸が垂れそめ紅白の梅は馥郁と、香り高く咲き出でます。

皆さんの善意と、友愛のあふれるばかりの雰囲気の中で、一巡楽しい公式訪問を終えますと、この秋に開催される、年中行事のハイライトである、地区大会の企画委員会を召集いたしました、ホストクラブである蒲郡クラブの皆さんを中心にして、如何にして楽しい、そしてロータリーの心髄に触れるような輝かしい大会を開くべきか検討し始めます。この委員会は今後幾度となく開かれることでしょう。

ガバナーの公式訪問がおわるのを待ちかねて、多数のクラブの創立周年祝典が相次いで行なわれます。又新クラブのチャーターナイトが行なわれます。私はそれぞれ出席して友情を深めお祝いを述べています。

又大きな行事として、当地区では七つの分区でそれぞれ I. G. F. が開かれます。このフォー

ラムは主としてクラブ役員をつとめたことのない、平均的なロータリアンへのロータリーに関する情報と知識をあたえるものであります。私はもう三つのフォーラムに出席したのですが、ロータリーの知識を貪るように吸収せんと大変な熱意をもって、老壮青のロータリアンが仲よく提案し、ディスカッションを行ないます。とくに新しい会員の純真無垢な発言には感銘を深くします。

維新当時の日本は、人口3千2百万、その6割が農民（内8割が小作人）、約2千万の人々は極めて低い程度の生活に苦しい日々をすごしていました。文盲も多かったのです。現在世界の人口は三十億、半数以上の人々は衣食住の極端な不足に苦しみ喘いでいます。われわれは神仏のお恵みにより、78万3千人のロータリアンの一人に加えられる幸に浴し、世界同胞への奉仕の理想の実践について、考案し研究して、浅春の日曜日の日を満ち足りてすごしています。そぞろ生きる喜びを覚えます。わたくしは I. G. F. に参加させて頂いてこうした感慨に耽けりました。

■国際ロータリー第360地区三河第二分区 I . G . F . 開催



日 時 昭和51年2月15日 9:30~16:30
会 場 岡崎市 岡崎信用金庫本店大ホール
ホストクラブ 岡崎東ロータリークラブ

リーダー 渡辺末次郎 三河第二分区代理
アドバイザー 内藤卯三郎 パストガバナー
安野 譲次 パストガバナー
原 享二 パストガバナー
鮎谷賢太郎 パストガバナー
特別出席者 藤原 正男 ガバナー・ミニ
赤津賢太郎 地区幹事

意見発表者

岡本 卓一 (高 浜) 藤原 成克 (岡崎南)
本田 宏司 (豊 田) 加藤 博 (一 色)
梅田 章次 (岡 崎) 石原 勝成 (安 城)
梅田 久 (碧 南) 今本 修福 (刈 谷)
成田 敏隆 (岡崎東) 鳥山 幸男 (西 尾)
小島 午郎 (豊田西)

プログラム概要

9:00~9:30 登 録
9:30~10:00 点鐘・式典
10:00~12:00 意見発表
12:00~13:00 休 憩
ロビーにて浮世絵展観賞
13:00~14:30 自由討論
休 憩 (体操)
14:45~16:05 指導講演
(1) クラブ奉仕について 内藤卯三郎 P G
(2) 職業奉仕について 安野 譲次 P G
(3) 社会奉仕について 原 享二 P G
(4) 国際奉仕について 鮎谷賢太郎 P G
16:05~16:15 山田ガバナー講評
16:15~ 次期ホストクラブ発表
渡辺末次郎分区代理
次期ホストクラブ挨拶

斎藤清刈谷 R C 会長
ロータリーソング (手に手つないで)
16:30 点 鐘

三河第2分区代理 渡辺末次郎

上記の通り実施されたが、このフォーラムで最も印象の深かったのは4人の新人のそれぞれの新しい考え方とその発表態度の立派であったこと。青少年問題で涙を呼んだ小学生作文の朗読。職業奉仕に関する疑義の解明。

社会奉仕・国際奉仕各部門の特異な実績の発表等であった。

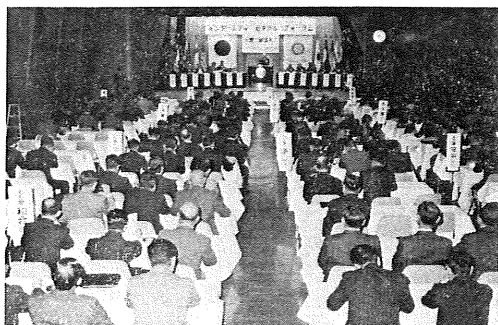
午後に至って、それ等の問題点についての討論と各アドバイザーとの質疑応答が行われた。

引続き各アドバイザーから感銘深い指導講演を20分宛いただいたが、時間不足となってガバナーがご講評を若干短縮していただいたことはリーダーとして申訳けない次第であった。

にもかかわらず、ガバナーからは過分のおほめのご講評を賜わり身に余る光栄に感じた次第であった。最後にホストクラブの大変な努力に対し心から感謝の意をささげ度く合掌。

ク ラ ブ 名	51.1.10. 現在会員数	フォーラム 登 録 数
安 城	60	13
碧 南	70	14
一 色	48	13
刈 谷	69	16
西 尾	67	13
岡 崎	75	26
岡 崎 南	60	13
高 浜	42	9
豊 田	87	19
豊 田 西	52	15
岡 崎 東	41	41
11 ク ラ ブ	671	192

■国際ロータリー第360地区尾張第一分区 I . G . F . 開催



日 時 昭和51年 2 月22日
 会 場 名古屋商工会議所
 ホストクラブ 名古屋中ロータリークラブ
 プログラム
 9 : 00 ~ 9 : 55 登 録
 10 : 00 ~ 点 鐘
 ホストクラブ会長 佐藤鎗太郎
 10 : 00 ~ 10 : 05 君が代 奉仕の理想
 ソングリーダー 尾上 隆治
 10 : 05 ~ 10 : 10 開会の辞 歓迎の挨拶
 ホストクラブ会長 佐藤鎗太郎
 10 : 10 ~ 10 : 15 特別出席者紹介
 " " " "
 10 : 15 ~ 10 : 20 参加クラブ紹介
 ホストクラブ幹事 一柳 鎗
 10 : 20 ~ 10 : 25 ガバナー挨拶
 ガバナー 山田市三郎
 10 : 25 ~ 10 : 30 フォーラムリーダー挨拶
 分区代理 田辺 三郎
 10 : 30 ~ 10 : 40 アンケート報告
 ホストクラブ担当 堀田 逞二
 10 : 40 ~ 11 : 00 アンケートについて所見
 ガバナー 山田市三郎
 " 分区代理 田辺 三郎
 小 憩
 11 : 10 ~ 11 : 50 クラブ奉仕について提案並討
 議 パネリスト 山田 昇平
 11 : 50 ~ 12 : 30 食事と休憩
 12 : 30 ~ 13 : 10 社会奉仕について提案並討
 議 パネリスト 浦野 三男
 13 : 10 ~ 13 : 50 青少年奉仕について提案並討
 議 パネリスト 鈴木 武二
 13 : 50 ~ 14 : 00 健康体操 指導 YMCA

14 : 00 ~ 14 : 10 小 憩
 14 : 10 ~ 14 : 20 うたのけいこ
 ソングリーダー 尾上 隆治
 14 : 20 ~ 15 : 00 職業奉仕について提案並討
 議 パネリスト 樋田 耕平
 15 : 00 ~ 15 : 40 国際奉仕について提案並討
 議 パネリスト 田中 徹
 15 : 40 ~ 15 : 50 所見
 フォーラムリーダー 田辺 三郎
 15 : 50 ~ 16 : 00 講評 ガバナー 山田市三郎
 16 : 00 ~ 16 : 20 所見
 アドバイザー 安野 譲次
 " 鮎谷賢太郎
 16 : 20 ~ 16 : 25 次期ホストクラブ会長挨拶
 東海 R C 小嶋 洋一
 16 : 25 ~ 16 : 28 手に手つないで
 ソングリーダー 尾上 隆治
 16 : 28 ~ 16 : 30 閉会の辞
 ホストクラブ副会長 近藤 徹
 16 : 30 点 鐘

ク ラ ブ 名	51.2.10. 現在会員数	フォーラム 登 録 数
半 田	66	11
東 知 多	43	13
名 古 屋	221	15
名 古 屋 東	83	12
名 古 屋 北	90	8
名 古 屋 南	104	17
名 古 屋 港	105	11
名 古 屋 守 山	73	10
名 古 屋 中	75	75
名 古 屋 西	129	15
名 古 屋 東 南	74	8
名 古 屋 和 合	57	13
東 海	47	9
常 滑	50	14
14 ク ラ ブ	1,217	231

■ 事務総長の地区ガバナー書翰抜萃

1976年2月16日付

● 親愛なるロータリアン各位

全世界のロータリアンは人類の将来を堅く信じ、それが「人間に威信を」もたらす多種多様な奉仕活動を創始し、実践するようにロータリアンを鼓舞しているのです。ロータリアンは、また、ロータリーの将来を堅く信じ、それが70有余年間、人々の生活をうるおす原動力となってきたのであります。

ロータリーはあらゆる有用な職業の尊さを認識させ、職業道德の敷衍と高揚に貢献してきました。ロータリーは、世界各地において多くの事業を行ない、地域社会の改善向上につとめ、国際間の理解と友好の増進に大きな功績をなしております。

しかしながら私達は過去の業績を喰い物にして生きていくことはできません。もしロータリーがよりよい世界を築く力強い運動であるならば、私達はロータリー運動のあらゆる面の向上、強化をはかる努力をたゆまずに続けていかねばならないのであります。ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、ロータリーが常に成長の過程にあって、過去の業績に頼って存続する状態にはならないことを認知していました。「ロータリーはすべての点で申し分ないでしょうか？」の問に対して、彼は、「もし申し分なければ、われわれは全盛時代の終りに近づいていることになる……ロータリーの各面、各分野で改善、向上を要しない点は恐らく何処にも無いだろう。私は、ロータリーの開拓時代はやっと始まったばかりだと思いたい。」と論じています。

● 国際大会の記念講演者

エルネスト・イムバサイ・デ・メロ会長は、1976年6月13～17日のニューオーリンズ大会における二人の主要講演者を発表されました。その一人は国連本部のワルトハイム事務総長で6

月14日(月)の本会議で講演されます。もう一人は世界的に著名な経済の大家で、イタリアのクラブ・オブ・ローマの会長である Aurelio Peccei 氏で、6月15日(火)の本会議で講演されます。また、ロータリー財団、国際奉仕についての二大特別番組、数名の国際ロータリー理事との質疑応答の番組、職業別協議会、アイディア交換会議、特別余興番組などが予定されており、それに世界各国からロータリアンが参加する年次大会独特の国際的親睦が全行事に溢れることになります。ニューオーリンズのスーパードームには全世界の全ロータリー・クラブの代表を集めても、まだ十分に余裕があります。

● 地区協議会への参加奨励

貴地区協議会を成功させることは、1976～77年度における貴地区内諸活動を成功裡に完遂するための要点であります。全参加指名役員の出席を奨励して下さい。ガバナー月信を通じて地区協議会を広報推進し、各分区代理へは、担当クラブとのあらゆる機会を通じて協議会への参加を強調するように指示して下さい。協議会への参加奨励には特別の重点を置くことが必要です。地区協議会への参加の要点を要約したものを全クラブへ送付されることも一案です。各参加指名役員のもつ重要な任務に訴え、全員の参加を促がして下さい。参加指名役員は次の通りです：クラブ会長；クラブ幹事；四大奉仕部門担当理事又は委員長；クラブ会計。

● スライドセット：ロータリー情報の用具

先日来、三つの青少年に関するスライドセットが発売されております：「ローターアクトの活躍」(第6112号)、青少年交換についての「門は開かれている」(第745号)、と「インターアクト奉仕の仲間」(第6096号)です。「最も

重要な人物」(第450号)は、新会員育成のためのスライドセットです。「相違が生じるか?」

(第451号)はロータリーの広報活動の目的と機能を解説したものです。「人類は大地に属する」(第434号)は、各地域で環境保全のために各クラブで実行できる活動を示すものです。これらのスライドセットは、全部各クラブでのプログラム用として中央事務局より購入することができます。

●1974～75年度の会員増強率

1974～75年度の初めから現存していたクラブにおける昨年度の増強率は全世界平均して、一クラブにつき、0.385名です。これを地域別に見ますと次のようになります：

地 域	会員増強率
GB&I	.086
CENAEM	.821
ANZAO	.096
アジア	1.402
SACAMA	.324
USCB	.018

1974～75年度前、5カ年間の一年度における既存クラブの平均会員増強率は、約0.5名でした。世界各国における経済的不況が昨年度の会員増強率に影響していることは確かな事実ですが、ロータリーを成長させ続けるには、各クラブにおいて本年度の終る前に未充填職業分類を充填する特別な努力をすることが重要です。米国オレゴン州の一地区ガバナーは、最近「会員増強の月」を制定して、地区内クラブの健全な会員増強をはかるアイディアに注意を喚起しておられます。

●財団年次報告の活用法

1974～75年度ロータリー財団年次報告が全クラブ会長、地区ガバナー及び地区ロータリー財団委員長宛に発送されました。この年次報告書は、1974～75年度におけるロータリー財団の諸活動並びに財政収支に関するインフォメーションを提供するのに加え、貴地区における財団活動推進に役立つ資料を提供するものです。ロータリアンである、なしに拘らず、財団支援に関心のある方々は誰でも、この年次報告より財団への寄付によって支持されている諸活動の種

類、その規模などについて多くの事柄を知ることができます。この年次報告は、また、各地の報道機関へ提供する財団についての広報活動の参考資料としても優れているものであります。

●世代の断絶は生じません、

米国ルイジアナ州、メタイリー・ロータリー・クラブの会報編集者は、その会報を通じて、会員増強についての実践的な動機に富む考え方を紹介しておられます。「ロータリーもだんだんと年をとり、もちろん、それだけ賢明にもなってきました。しかし、ロータリーは、依然として、謙虚な創設時代から、今日の全世界に及ぶ偉大な運動にまで育て上げた、ロータリーの開拓時代からの功労者である、誠にすばらしい高令会員に恵まれてはいても、決して「おとしよりのクラブ」ではありません。われわれは、年月が、いつの間にか流れ過ぎるように経過しても、ロータリーを心の若い組織として維持していかなばなりません。そのためには、ロータリーの動脈に絶えず、不断の要点として若い人々の血液を注入していく以外には方法はないのです。

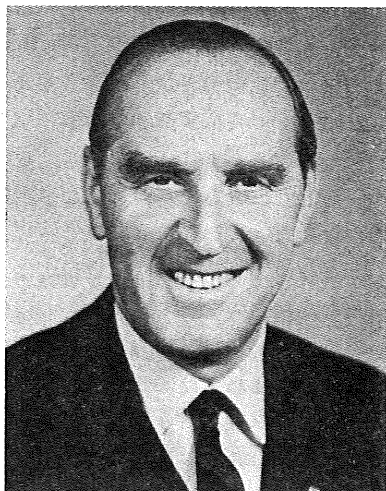
故に今度、新入会員の候補者を物色されるときには、社長格の高令者は、もちろんのことながら、若手の事業家や専門職業人、特に、これまではロータリーから見落され勝ちだった、小規模の事業を経営している人達にも目を向けて下さい。小規模ながら立派に事業を運営している人達は多く、そして、その中にはロータリーから入会の招待があるのを待っている人達が多々あるのです。そうです、ロータリーもだんだんととしをとっているのです。しかし、われわれのロータリーに「世代の断絶」は不要なのです。故に、若手の会員の獲得に乗り出さなければならぬのであります。」

●全世界のロータリー

1976年2月9日現在、ロータリーは、151の国及び地理的地域に16,678のクラブと約783,000人のロータリアンを有します。地区数は357です。1975年7月1日以降、32カ国から、179の新クラブが国際ロータリーに加盟いたしました。

■1977—'78年度 R. I. 会長ノミニー指名さる

オーストリア、クラゲンフルト R. C. の会員ヴォルフガング A. ヴィック氏は、1976年1月12日の R. I. 会長指名委員会で1977—'78年度 R. I. 会長ノミニーに満場一致で指名されました。



〔ヴォルフガング A. ヴィック氏の紹介〕

オーストリア国カリンシアのラーデンタインのオーストロ・アメリカンマグネサイト会

社の副会長。米国ペンシルバニア州フィラデルフィアのゼネラル耐火れんが会社のヨーロッパ担当副社長。

オーストリア、ウィーンに生まれ、インスブルック大学に学び、オーストリアのウィーン大学及び英国オックスフォード大学より博士号の学位を受けた。

カリンシア大学政治経済学友会々長。カリンシア産業連合会長。カリンシア商業会議所副会頭。

ロータリー歴は、1951年オーストリア、クラゲンフルト R. C. に入会し同クラブ会長、地区ガバナー、R. I. 第3副会長、理事、委員会委員、ロータリー情報及び拡大のカウンセラーを歴任し、現在1976年国際大会委員、ロータリーの目的及び綱領委員会委員である。

■国際ロータリー理事会の決定事項抄録

1976年1月

国際ロータリー理事会は、1975—76年度第二回理事会を、1976年1月19—25日、米国イリノイ州エバンストンの中央事務局において行ないました。理事会は、ロータリーの運営、プログラムの各面について多くの事項を検討、協議いたしました。

下記は、その1月の理事会における決定事項のうち、ロータリー全般に関するものの抄録であります。地区ガバナー、地区大会への会長代理、その他、理事会の決議に関する現行のインフォメーションを会員各位より求められる方々は、本抄録を参考資料としてご保存になることをお勧めいたします。それに加え手続要覧中の当該事項のもとに今回の決定の注を記入しておかれますならば、一層役立つことと存じます。

●ロータリーの地域制度化

理事会は、国際ロータリーの組織及び運営に

関する現行の方針は健全であり、維持すべきであることを決議いたしました。更に理事会は、ロータリー内に、地域制度化の傾向を示す、或いは、その意図の表明はしないが、多数地区合同、国家単位、並びに国際的なレベルにおける活動が行なわれていることを認め、地域制度化の傾向を示す活動に注意し、調査に必要な手段を講じ、国際連盟の調和を保持することができるよう、その状態の浄化をはかるべきであるとの意向を明らかにしました。

理事会は、また、国際ロータリーの現任役員、元役員、及び次期役員のためのロータリー研究会は、国際ロータリーとその現任及び次期リーダーと、加盟クラブとの相互の通信連絡機関として貴重な役割を果たすものであり、これを継続すべきことを決議いたしました。

●国際ロータリーの立法手続

理事会は

- a) 地区ガバナー並びに各クラブに対し、国際ロータリー細則に規定されている、規定審議会へのクラブ代表の資格と任務について留意し、そして、審議会へのクラブ代表として最も資格のすぐれたロータリアンを選出する重要性を強調することを決議し；
- b) 地区ガバナーが地区大会プログラムを計画するに当たって、国際ロータリーの立法制定案を適宜に検討する地区大会番組を組むものとする、という従前の決議を再確認し、地区ガバナーへ強調することを申し合わせ；
- c) 国際ロータリーの規定審議会へ立法案を提出できる各クラブの権利を侵害することなく、立法案の提出を計画しているクラブは先ず、その立法案を地区大会へ提出して検討に付すことを強調し、地区ガバナーは、地区大会プログラムに、地区内のクラブが規定審議会へ提出することを計画している立法案を協議する機会を含めることを強調する旨、決議いたしました。

●1976～77年度地区ロータリー情報研究会プログラム

理事会は、

- a) 1975～76年度に設定された通りに、地区ロータリー情報研究会プログラムを、1975～76年度理事会によって採択されたことを基本にして1976～77年度にも継続実施することを決議しました。但し、1976～77年度の地区ロータリー情報研究会の開催期間は、1976年8月1日より、1977年6月30日までとし；
- b) 1976～77年度地区ロータリー情報研究会の成果に基づき、本プログラムを更に継続するか否かの決定を行なう前に、この地区ロータリー情報研究会プログラムを再検討、評価し直すことを決議いたしました。

●ロータリー提唱多数クラブ合同活動

理事会は、1966～67年度理事会で採択された、地区におけるロータリーの後援する諸活動（手続要覧、1975年8月版、75ページ）に関する方針声明を修正し、その表題を、ロータリー

提唱多数クラブ合同活動と改定し、その声明文の冒頭の字句を次のように修正いたしました：

一つ又はそれ以上の地区内のクラブが参加する、ロータリー提唱多数クラブ合同活動は、関係クラブの意見により、合同活動が個々のクラブの活動を一層効果あらしめることが認められた場合に下記を条件として、実施することができる：（これより、a）項以下の声明は現行のまま）

●新クラブ結成の方針声明書

理事会は、ロータリー・クラブ結成の方針声明書（手続要覧、1975年8月版、79ページを参照のこと）を次のように修正いたしました。

- a) 「クラブの区域」と題する箇所の中から、次の文章を削除する：

ロータリー・クラブの区域内には十分な数の実業及び専門職業の事業場のあることが期待される。これは新クラブの会員構成で、少なくともその50パーセントをクラブの区域内に事業場を有する会員をもってすることができるようにするためである。

- b) 「仮クラブ」と題する箇所の声明文を削除し、次の声明文を入れる：

その最初の結成総会より、毎週、定期的に会合する、結成集団は、それが国際ロータリーの加盟クラブとして認証されるまで、「仮ロータリー・クラブ」と呼ばれる。

●地区拡大委員会

理事会は、地区拡大委員長の任命に関する従前の決議（手続要覧、1975年8月版、79ページ）のうち、“最近の元地区ガバナー”の字句の直ぐ後に“又はその他の資格あるロータリアン”の字句を加え、よって、この決議の全文を次のように修正いたしました：

理事会は地区ガバナーに対し、地区内の事情によく精通している、できれば最近の元地区ガバナー、又はその他の、資格あるロータリアンを地区拡大委員長に任命することを勧めている。

●拡大の重要性

理事会は、拡大に関する項目が国際ロータリ

ーにとって非常に重要な意義を有し、国際ロータリーの現役員及び元役員のためのロータリー研究会、国際ロータリー年次大会、国際ロータリーの現役員、元役員及び次期役員のためのロータリー研究会、その他、国際ロータリー理事会がそのプログラムの型式を制定する、すべての地区会合などを含む、ロータリー会合のプログラムにて重要な位置を占めるに価いする意義のあることを決議いたしました。

●ロータリー・クラブにおける社会奉仕委員会組織

理事会は、ロータリー・クラブにおける推奨委員会組織の社会奉仕の部門に下記の委員会を置くことを決議いたしました。

環境保全	高令市民
心身障害者	青少年
都市農村関係	ローターアクト
都市安全	インターアクト

●インターアクト及びローターアクト・クラブの理事数

理事会は、1976年7月1日付をもって効力を発す、下記の改正を行ないました：

- a) 標準インターアクト・クラブ定款第6条第2項並びに標準ローターアクト・クラブ定款第6条第2項の最初の文章を次のように改正：

本クラブの管理主体は、適正会員から選出された、会長、副会長、幹事、会計、並びに本クラブが提唱ロータリー・クラブの承認を得て決定した人数の理事を以て構成する理事会とする。

- b) 標準インターアクト・クラブ細則第1条並びに標準ロータリーアクト・クラブ細則第1条に次の第3項を加える：

会長、副会長、幹事、および会計のほかに_____名の理事を選挙するものとする。

●インターアクト及びローターアクトに関する方針声明

理事会は、1976年7月1日をもって効力を発すものとして表記の一部改正を行ないました：

- a) インターアクトに関する方針声明第4項を次のように改正：

4) インターアクト・クラブは、一つのロータリー・クラブ又は数クラブによって結成され、後援され、かつ指導監督される。そして地区ガバナーの承認を得た後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される；その他の方法によって創立し維持することはできない。クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの後援の国際ロータリーの認証の持続如何による。

本声明に次の第23項を新たに加える：

23) 原則として、インターアクト・クラブは、その団体組織の目的如何を問わず、他の団体組織に加盟することも、合併することも認められない。

- b) ローターアクトに関する方針声明第3項を次のように改正：

3) ローターアクト・クラブは、一つのロータリー・クラブ又は数クラブによって結成され、後援され、かつ指導監督される。そして、地区ガバナーの承認を得た後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される；その他の方法によって創立し維持することはできない。クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの後援と国際ロータリーの認証の持続如何による。

本声明に次の第21項を新たに加える：

21) 原則として、ローターアクト・クラブは、その団体組織の目的如何を問わず、他の団体組織に加盟することも、合併することも認められない。

- c) 標準ローターアクト・クラブ定款第4条第4項を次のように改正：

4) 会員資格は、(i)正当かつ十分な理由により本クラブ理事会が承認した場合を除き、出席義務を怠った場合、(ii)クラブが解散した場合、(iii)本クラブの年度末に満28才に到達した会員の場合、自動的に終結するものとする。但し、ローターアクト・クラブの年度は、そのクラブ細則に規定されているクラブ役員の就任日によって、ロータリー・クラブの年度、もし

くは、暦の上の年度と同一のものとする。

● インターアクト会員の入会資格

理事会は、

- a) 標準インターアクト・クラブ定款第4条第1項を、1976年7月1日付をもって、次のように改正することを決議しました：

本クラブの会員となるには、善良な性格と指導者の素質を備え、そして(i)学校関係のクラブの場合は、大学進学直前の4カ年間に在学中で、学業及び課外活動において優秀な成績を実証した高校生であることとし；(ii)地域社会を基盤としたクラブの場合には、満14才の年齢に達した者、或いは、大学進学直前の4カ年間に在学中の高校生であることとする。

- b) 標準インターアクト・クラブ定款第4条第5項(ii)の条文を、1976年7月1日付にて、次のように改正することを決議しました：

(ii)学校関係のクラブにては卒業又は他の理由により、会員が選考された地域において大学進学直前の4カ年間の高校生でなくなった場合、学校関係でなく地域社会を基盤としたクラブにては、卒業又は、満18才の年齢に達した場合。

● インターアクト及びローターアクト・クラブとその提唱ロータリー・クラブに共通した責務とその調整

理事会は、提唱ロータリー・クラブが少なくとも年に1回、インターアクト及び／又はローターアクト・クラブの活動計画と目標を協議する会合を開催することを強調し、この会合はインターアクト会員とローターアクト会員とは別々に行なうものとし；この会合への出席者は、インターアクト又はローターアクト・クラブの全会員、提唱ロータリー・クラブの会長、提唱ロータリー・クラブのインターアクト又はローターアクト委員会、青少年委員会の全委員とし、更にこの会合にては、インターアクト又はローターアクト・クラブに関連する下記の事項を議題に含めるべきことを決議しました：

プログラム	例会出席の意義
諸種手続	会員増強
完遂した事業	将来の活動計画

実施中の事業

更に理事会は、地区ガバナーがローターアクト・クラブの提唱に伴う責務、諸問題、成果等々を協議するローターアクト・クラブ顧問の特別集会を地区協議会又は地区大会の一部として開催することを奨励する旨を決議いたしました。

● インターアクト・クラブと提唱ロータリー・クラブとの関係

理事会は、提唱ロータリー・クラブとインターアクト・クラブとの関係を良くする目的で、インターアクト・クラブを提唱しているロータリークラブの地区セミナーを開催することを地区ガバナーへ推奨する旨、決議いたしました。この地区セミナー開催についてのインフォメーション、参考資料類が考案、作成され、各地区ガバナーへ提供されることになっています。

● インターアクトとローターアクトの地区組織

理事会は、1976年7月1日付にて効力を発すものとして、次の修正を行ないました。

- a) インターアクトに関する方針声明第21項(ii)を次のように改正する：

もしインターアクト地区が設立した場合、地区ガバナーの承認を得て、地区インターアクト代表に加え、地区インターアクト幹事、それに、或る数のクラブを担当し、地区インターアクト代表より委嘱される他の任務に当る2名又はそれ以上のゾーン代表よりなる地区組織を構成することができる。

- b) ローターアクトに関する方針声明第19項(ii)を次のように改正する：

もしローターアクト地区が設立した場合、地区ガバナーの承認を得て、地区ローターアクト代表に加え、地区ローターアクト幹事、それに、或る数のクラブを担当し、地区ローターアクト代表より委嘱される他の任務に当る2名又はそれ以上のゾーン代表よりなる地区組織を構成することができる。

● インターアクト及びローターアクト・クラブの地域的組織

理事会は、地区レベル以上の如何なるインターアクト又はローターアクトの組織も承認しな

いことを表明しました。インターアクト及びローターアクトのクラブ・レベル以上の会合に関して、理事会は、1976年7月1日より効力を発するものとして、次の改正を行ないました。

a) インターアクトに関する方針声明第21項に次の項目を加える：

へ) クラブ・レベル以上のインターアクト・クラブ会員の会合は、立法の権限をもたず、且つその権限があるかのように組織することも開催することも許されない。しかしながら、そのような会合に、インターアクトの運営につき地区、その他のレベルで関与する者にとって、助言としての意義があるアイデアを表明する機会を含めることはできるものとする。

そして、現行のへ)項はト)項とする。

b) ローターアクトに関する方針声明第19項に次の項目を加える：

へ) クラブ・レベル以上のローターアクト・クラブ会員の会合は、立法の権限をもたず、且つ、その権限があるかのように組織することも開催することも許されない。しかしながら、そのような会合に、ローターアクトの運営につき地区、その他のレベルで関与する者にとって、助言としての意義があるアイデアを表明する機会を含めることはできるものとする。

そして、現行のへ)項はト)項とする。

●インターアクト及びローターアクト・クラブの統一プログラム

理事会は、各ロータリー地区において、地区内のローターアクト並びに／又はインターアクト・クラブと協議相談の上、各地方で適当な時期を選び、各インターアクト・クラブ、並びにローターアクト・クラブが参加することができる。たとえば、献血週間のような統一を考案し推奨することを奨励する旨、決議いたしました。

●青少年の交換

理事会は、ロータリーの青少年交換活動の伸展を促がし、一層多くのクラブを参加させるため、本活動を引続き奨励、強調することを決議

いたしました。

●青少年活動週間

理事会は、毎年、行なわれる「青少年活動週間」の遵奉に際し、ロータリーの各種青少年活動を主体とする記念行事を二週間引続いて行なうことを望むクラブは、本特別週間を二週間にわたって遵奉することができる旨、決議いたしました。

●ロータリーの青少年への奉仕の目標

理事会は、

a) 「青少年への奉仕の目標」と題する決議文(手続要覧 1975年8月版175ページ)の第6項に下記の新しい(b)項の条文を加え、現在の(b)項を(c)項として、その改定をいたしました：

(b) 青少年と成人、青少年と両親の如き、それぞれ世代の異なるグループ間の意志の疎通をはかる方法の研究と。

b) 「青少年への奉仕計画」と題する決議文(手続要覧、175～176ページ)中の「父親と息子」の字句を削除して、そこへ、「青少年と両親」の字句を入れて、その改定をいたしました。

■第13回世界ロータリーゴルフ選手権大会のご案内

世界フェロシップ活動委員会企画の一つとして、第13回世界ロータリーゴルフ選手権大会が来る5月23日から29日まで、ハワイ州マウイ島のロイヤルカアナパリにて開催されます。

競技会は72ホールストローク・プレーで行なわれますがルール、資格、参加料等案内状をご希望の方はガバナー事務所までお申出下さい。

■国際大会出席代表信任状について

R. I. 本部から各クラブに送られている1976年国際大会出席代表の信任状には

1. 3月最終例会の会員数及び投票数
2. クラブ会長の署名
3. クラブ幹事の署名

をご記入のうえ4月20日(火)までに下記の藤原ガバナーノミニー宛ご送付下さい。

〒392 長野県諏訪市湖岸通3～2～9

ぬのはん内 国際ロータリー第360地区

■1977~'78年度ロータリー財団奨学生選考要項

1977~78年度ロータリー財団奨学生選考試験が下記の通り行なわれます。

1. 選考日時 昭和51年4月17日(土)

11:00~12:00 筆記試験

13:00~16:00 面接試験及び選考

1. 場 所 名古屋市科学館

1. 選考委員 山田 市三郎 G.

近藤友右衛門 P. G. 佐藤知雄 P. G.

鮎谷賢太郎 I. P. G. 藤原正雄 G. N.

小山福松 財団教育補助金委員長

岩田嘉七 財団教育補助金委員

吉田市郎

〃

(英)(独)(仏) 中京大学教授

■米山記念奨学会へ特別寄付

1975年7月より1976年2月までに次の通り特別寄付が寄せられました。ご貢献に対し深甚の敬意を表します。

7月17日 志賀 為久(岡崎) 20,000円

8月11日 渡辺末次郎(豊田) 100,000円

〃 稲垣 志一(〃) 100,000円

9月1日 岡崎ロータリークラブ 38,000円

11月17日 墨 末芳(一宮) 100,000円

〃 一宮ロータリークラブ 50,000円

11月25日 尾西ロータリークラブ 100,000円

12月10日 小林 盛人(名古屋北) 300,000円

1月19日 加藤 庄一(岡崎) 20,000円

2月12日 中村 繁男(岡崎南) 10,000円

2月21日 中根比呂志(岡崎) 10,000円

■犬山・松本・松本南・名古屋東南の4クラブに財団寄付率1,500%達成の額贈呈

財団寄付率1,500%達成の感謝の額がロータリー財団管理委員会より、犬山・松本・松本南・名古屋東南の4クラブに贈呈されました。

ご貢献に対し深甚の敬意を表します。

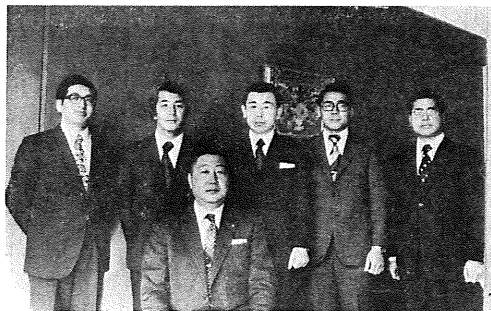
■新年度会長・幹事の御顔写真を早目に

ロータリーの「友」では、例年の如く、新年度の会長・幹事の御顔写真を別刷りにして、新年度の「友」近刊号に添付する予定で、現在各クラブより御顔写真を集めております。

しかし、例年御顔写真の集まりが悪く発行が

遅れておりますので、今年は特に早目にお送り下さい。締切日は4月15日(木)です。

■第2回GSEチーム歓送会開催



折井リーダーを中心に左から中川、古橋、畑山、森、百瀬の一行の皆さん

太平洋沿岸サンディエゴ市を中心とする国際ロータリー第534地区へ派遣する第2回GSEの歓送会が下記の通り盛大に行なわれました。

日 時 3月15日(月) 11:30

場 所 名鉄グランドホテル

なお、当日名古屋発15:55(ひかり178号)で上京、羽田発21:45 J L #062(B-747)で皆さん胸を張って元気よく出発されました。

一行は4月29日帰国の予定ですが、全行程ご無事で所期の目的を達成せられ、全員つつがなく帰国されることをお祈り申し上げます。

■一宮ローターアクト・クラブ認証状伝達式を盛大に挙行



一宮、一宮北、尾西の3RC提唱による一宮ローターアクトクラブ認証状伝達の諸行事が2月8日、ロータリーの次元を広げる青少年たちの手で有意義に行われました。

午前11時から真清田神社本殿で行われた認証状伝達式には一宮RAC25会員をはじめ、豊橋、岡崎、田原、名古屋港、岐阜長良、羽島の各RACからも参加者を迎え、山田市三郎360地

2月会員数及び出席率 (51年3月10日現在)

順位	クラブ名	会員数	出席数	割合	前月順位	前月会員数	増減
1	名古屋港	105	100	4	13	105	
1	名古屋北	92	100	4	14	90	+2
1	名古屋田	87	100	4	1	87	
1	松本南	79	100	4	1	79	
1	松本南	74	100	4	25	73	+1
1	松本南	69	100	3	32	69	
1	犬山根	65	100	4	1	65	
1	ケ田南	64	100	4	1	64	
1	飯名合	60	100	4	1	60	
1	古屋和	56	100	3	1	57	-1
1	豊田西	53	100	4	1	54	-1
1	辰野	43	100	3	1	43	
1	尾張旭	42	100	4	19	42	
1	輕井沢	38	100	4	1	38	
1	飯島	34	100	4	1	31	+3
1	倉上山	32	100	4	1	32	
17	豊橋北	94	99.74	4	14	91	+3
18	名古屋東	83	99.69	4	20	83	
19	豊橋南	55	99.55	4	26	55	
20	飯名西	68	99.51	3	32	70	-2
21	名古屋西	131	99.39	4	41	129	+2
22	春日井	73	99.32	4	16	73	
23	春津島	69	99.20	4	48	69	
24	伊那	65	99.16	4	18	67	-2
25	西尾	67	98.83	4	22	67	
26	小牧	53	98.74	3	40	53	
27	江安	58	98.71	4	1	58	
28	岡谷	61	98.69	4	17	60	+1
29	岡谷	54	98.61	4	28	55	-1
30	豊橋	104	98.60	4	21	104	
31	瀬戸	69	98.55	3	29	69	
32	春日井	51	98.53	4	31	51	
33	常滑	50	98.50	4	44	50	
34	豊川	66	98.46	4	22	64	+2
35	豊川	62	98.39	3	27	62	
36	宮北	72	98.24	4	37	71	+1
37	刈谷	68	98.11	4	49	70	-2
38	稲沢	53	98.07	3	46	52	+1
39	名古屋中	75	98.00	4	47	75	
40	名古屋山	75	97.97	4	43	73	+2
41	名古屋南	105	97.92	3	38	104	+1
42	岡崎	60	97.88	4	24	60	
43	岡東	47	97.87	3	64	47	
44	長野	67	97.85	3	36	67	
45	上	61	97.50	4	35	63	-2
平均出席率=97.18%							
46	宮川	87	97.06	4	57	88	-1
46	一松	34	97.06	4	56	34	
48	小諸	50	97.01	4	42	50	
49	岡崎東	41	96.97	4	52	42	-1
50	名古屋空	65	96.88	4	54	64	+1
51	名古屋東	76	96.67	4	50	74	+2
52	長半	75	96.55	4	51	74	+1
52	半田	66	96.55	4	55	66	
54	東知	43	96.51	4	45	43	
55	諏訪	56	95.98	4	65	56	
56	高浜	42	95.84	4	62	42	
57	一色	48	95.83	4	61	48	
58	岡崎西	75	95.82	3	39	76	-1
59	尾南	42	95.30	4	32	42	
60	佐久	27	95.26	4	71	26	+1
61	蒲田	71	95.23	4	53	69	+2
62	田原	48	94.79	4	30	47	+1
63	大松	61	94.53	3	66	62	-1
64	松本西	39	94.23	4	68	39	
65	新名	46	93.48	4	58	46	
66	名古屋	219	93.31	4	63	221	-2
67	名渥	45	92.86	3	72	45	
68	富士	28	92.85	4	59	28	
69	中野	41	90.95	4	60	42	-1
70	白馬	30	90.00	4	67	30	
71	奥三	37	89.87	4	70	38	-1
72	丸河	35	89.28	4	69	35	
73	木曾	44	88.46	4	73	43	+1
74	箕輪	26	86.54	4	74	26	

会員数 4,606名 純増 9 (累計242)

区ガバナーから墨芳郎一宮RAC会長に認証状が伝達され、提唱3クラブのロータリー計画に“青少年を参加させる、拡大の1ページを加えました。

つづいての「ぶらぶら交流会」はローターアクトの仲間同志のつどい。文字どおり街のあちこちをぶらぶらしながらコーヒーショップで、商店のフロアで大いに語り合い、友情の輪を広げようとのプログラムで、他クラブのRAに向けて一宮の街の印象、そして一宮RACの特色を知ってもらい、その中で理想と目標の一つにする仲間同志の心のふれあいを重ねるのに十分な成果をおさめました。

山田ガバナー、鮎谷、安野パストガバナー、大竹分区代理、墨鉦平パスト分区代理、中西360地区RA諮問委員長ら、それに提唱3クラブ会員及関係ロータリアンが参加しての披露昼食会では、RAの歌が発表され、各RAの自己紹介、スコットランド民族衣裳での歓迎あいさつ、楽器演奏のグループと若い人たちらしいアイデアあふれたプログラムで祝賀のふん囲気を盛りあげ、ガバナー、パストガバナーらのお祝いとRA発展への期待をこめた挨拶があり、奉仕の理想と友情にあふれた意義ある一ときを飾りました。

敬 弔

次の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

水越正男 (安城) 白増商店店主

昭和51年2月26日逝去 60才

平野為蔵君 (蒲郡)

平長織布(株)社長

昭和51年3月2日逝去 46才

村本嘉夫君 (奥三河)

(有)九十商店代表取締役

昭和51年3月7日逝去 54才

■ ボールハリスフェロー誕生

深く敬意を表しますと共に心からお慶び申し上げます。

312号 田 辺 三 郎 (常 滑)

313号 杉 浦 信 重 (岡 崎)

314号 岡 田 庸 男 (岡崎南)

1976—'77年度 会長・幹事名簿一覽

ク ラ ブ		会 長				幹 事			ク ラ ブ		会 長				幹 事						
あ	ま	太	田	博	明	川	井	健	二	名	古	空	港	高	嶋	昇	一	安	藤	幸	治
安	城	鈴	木	清	一	稻	葉	裕	治	名	古	屋	東	余	語	栄	三	梶	山	正	弘
渥	美	渡	辺	茂	次	清	田	安	太	名	古	守	山	西	脇	千	主	矢	野	八	勲
尾	西	河	合	正	勝	神	村	東	美	名	古	屋	中	川	藤	喜	代	加	藤	一	郎
富	見	植	松	英	臣	中	木	喜	人	名	古	屋	北	小	川	修	次	伊	藤	文	三
浦	郡	小	池	一	三	鈴	地	省	三	名	古	屋	南	熊	谷	隆	平	白	木	丈	市
白	馬	風	間	慶	夫	山	平	佳	年	名	古	屋	東	加	藤	嘉	一	加	藤	良	博
半	田	竹	内	忠	一	土	原	幹	雄	名	古	屋	和	山	根	俊	郎	山	岸	俊	二
碧	南	新	実	藤	昇	笠	井	義	弘	名	古	屋	合	上	川	正	且	岩	野	宏	武
東	多	長	坂	和	男	酒	川	亮	吾	名	古	屋	西	磯	貝	忠	利	山	塚	和	夫
一	宮	江	崎	文	弘	長	田	昌	夫	中	春	日	井	天	野	達	三	水	増	敏	郎
一	北	神	田	美	喜	豊	沢	芳	雄	西	岡	岡	崎	林	山	龍	夫	犬	牧	正	次
飯	田	池	村	武	夫	宮	安	健	之	岡	崎	岡	崎	野	上	幸	次	荻	野	銀	一
飯	南	木	井	茂	稔	下	平	次	郎	岡	崎	奥	三	川	藤	佐	孝	中	根	昭	吾
飯	島	新	田		基	清	水	利	久	尾	張	張	戸	安	脇	周	完	三	崎		敦
伊	沢	篠	関	治	夫	小	須	理	一	名	古	屋	港	大	坂	六	藏	長	屋	龍	宏
稻	山	山	井	義	紹	高	田	重	稔	瀬	新	瀬	城	山	内	兵	治	出	分	卓	三
犬	色	松	山	邦	男	井	藤	劫	二	新	田	高	訪	永	田	昌	衛	荒	川	茂	助
一	谷	加	葉	幸	次	佐	上	五	七	田	高	辰	原	岩	波	卓	壽	松	本	至	宏
刈	沢	丸	藤	利	夫	池	木	雄	郎	高	濱	野	岡	山	内	莊	彦	福	田	信	男
輕	井	窪	山	文	吉	小	村	嘉	男	戸	上	田	竜	岡	本	良	一	太	山	貞	述
春	井	江	口	光	周	河	山	源	次	倉	山	海	野	小	平	進	五	丸	原	邦	義
木	曾	桑	場	公	夫	小	田	照	光	東	滑	橋	北	皆	木	磨	八	森	山	允	広
駒	根	堀	村	權	衛	山	地	映	孝	常	橋	橋	南	伊	奈	三	志	笠	部	満	男
小	牧	下	脇	春	次	小	林	克	平	豊	橋	橋	川	大	藤	正	照	畑	田	竹	二
小	諸	宮	沢	正	一	和	田	真	三	豊	橋	橋	南	内	山	照	美	青	木	德	生
江	南	伊	東	二	美	増	木	秀	明	豊	橋	橋	田	志	賀	信	秀	小	谷	俊	一
丸	川	野	村	鬼	昭	白	野	文	彦	豊	橋	橋	田	木	下	隆	平	金	沢	邦	郎
松	本	油	原	吉	助	鷹	野	博	久	豊	橋	橋	田	吉	田	信	夫	吉	羽	猶	次
松	本	荻	山	健	一郎	小	土	藤	加	豊	橋	橋	田	伊	藤	文	吉	中	野	守	男
松	本	山	村			藤	井			津			田	矢	島			清	水	勇	次
南	久	木	井							上			田								
箕	輪	石	井																		
長	野																				
長	古																				
名																					

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田市三郎

国際ロータリー第360地区
ガバナー事務所
〒460-91
名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階
☎名古屋(052)262-6111 (交換)
☎名古屋(052)262-2505 (直通)
地区幹事 赤津賢太郎
(名古屋南ロータリークラブ)